

第3節

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり

〔1〕 区民の健康づくりのために

- 1 生活習慣病と健康
 - (1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - (2) がん予防対策の推進

- 2 心の健康づくり
 - (1) 心を元気にするためのしくみづくり

- 3 生涯スポーツの推進
 - (1) 健康スポーツ都市・江戸川の形成

- 4 感染症と健康危機への対応
 - (1) 感染症対策などの充実

- 5 食と住の安全性
 - (1) 健康食住の推進

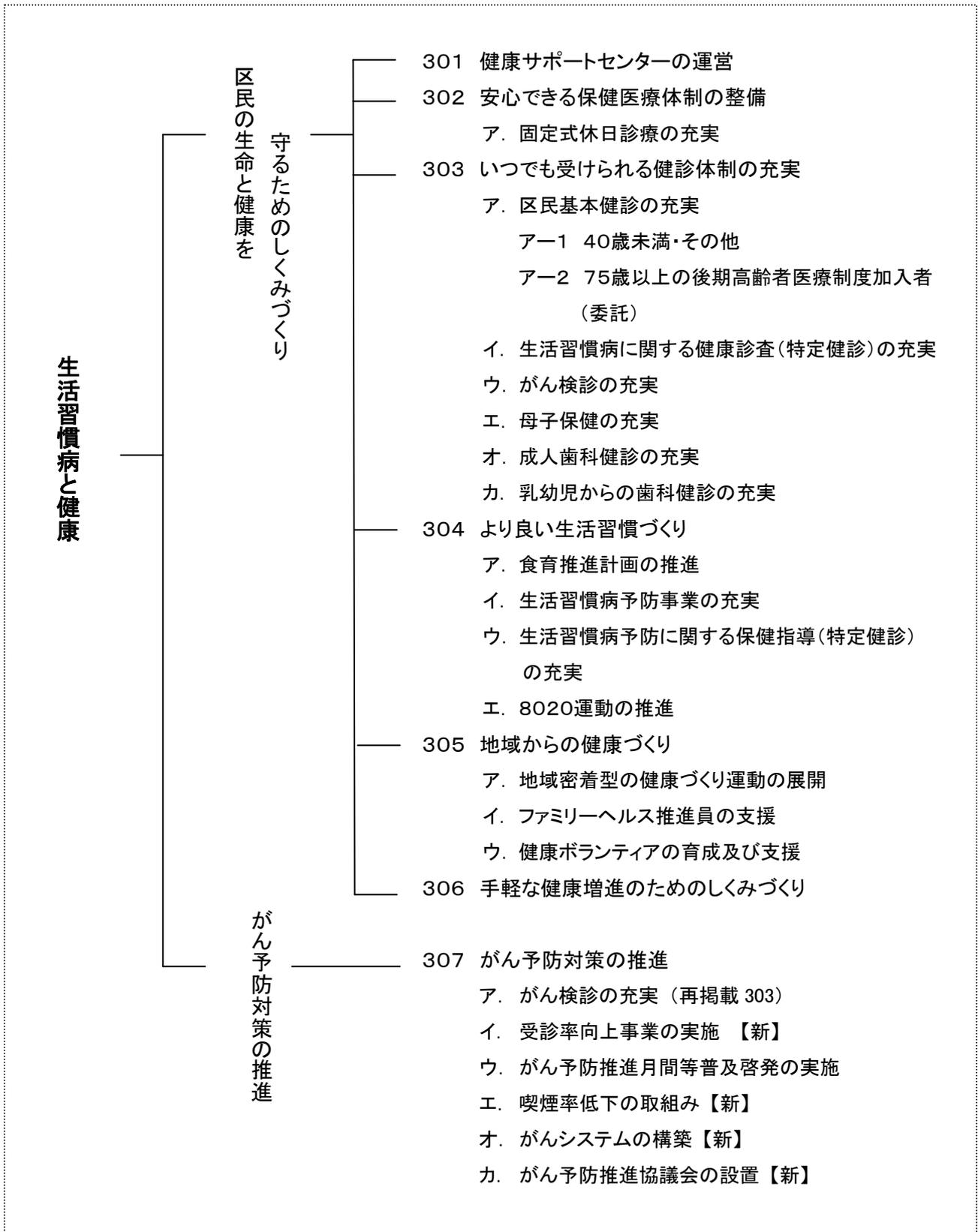
1 生活習慣病と健康

【施策の考え方】

高齢化の進展、食生活、ライフスタイル等の多様化に伴い、生活習慣病が区民共通の課題となっています。

生活習慣病は、日頃的生活習慣と密接な関係があるため、正しい生活習慣を身に付け、年齢、生活環境等に応じた健康づくりを進めることが大切です。自分の健康は自分で守り、自分でつくることを基本に、区民一人ひとりの「健康寿命」をのばすことを積極的に支援するための施策を展開します。

【施策体系図】



(1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり

301 健康サポートセンターの運営

妊娠分娩期及び乳幼児期から熟年期までの健康相談、各種健診、精神保健福祉、生活習慣病予防対策、介護予防等を行う健康サポートセンターを区内8か所に設置し、生涯を通じた健康づくりを支援します。

302 安心できる保健医療体制の整備

5月の連休及び年末年始の固定式休日診療を医師会館と医療検査センターで実施します。また、従来の輪番制との連携を図ることにより、区民が安心できる医療体制の整備に努めます。

施策コード	302	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
固定式休日診療の充実		固定式休日診療事業の充実	同左	同左
事業費		23,923千円	23,923千円	23,923千円

303 いつでも受けられる健診体制の充実

医療保険者が実施する生活習慣病予防の健診を踏まえつつ、区民等の健康増進を図り、切れ目のない健診体制の整備に努めます。

また、妊婦健診から乳幼児期の健康づくりの充実を進め、母子保健の向上に努めます。

施策コード	303	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
区民基本健診の充実	40歳未満・その他	13,750人	13,900人	14,050人
	事業費	106,051千円	107,118千円	108,318千円
	75歳以上の後期高齢者医療制度加入者(委託)	32,600人	34,200人	36,200人
	事業費	294,201千円	308,415千円	326,195千円
生活習慣病に関する健康診査(特定健診)の充実		62,000人	江戸川区国民健康保険健康診査(特定健康診査等)実施計画の策定・実施	計画の実施
事業費		690,498千円	※※※千円	※※※千円
がん検診の充実		126,300人	132,615人	139,246人
事業費		889,132千円	944,089千円	991,293千円
母子保健の充実		妊婦健康診査受診費助成の拡充	同左	同左
		乳幼児健診の実施 42,750人	同左	同左
事業費		693,213千円	693,210千円	693,210千円

成人歯科健診の充実	6,500人	6,550人	6,600人
事業費	54,577千円	54,988千円	55,398千円
乳幼児期からの 歯科健診の充実	乳幼児歯科事業 の実施 33,450人	同左	同左
事業費	50,715千円	50,710千円	50,710千円

304 より良い生活習慣づくり

健康で生き生きとした生活を送るため、「食」に関わる団体との連携を通じた食育推進計画を推進します。

また、「特定健診等実施計画」に基づき、生活習慣病に関する健康診査(特定健診)の結果等を踏まえ、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群に対して、生活習慣の改善等を図る適切な保健指導を実施するとともに、生活習慣アクションプランに基づいた普及啓発に努めます。

また、歯科医師会と協力し、口腔疾患の予防及び口腔ケアに関する普及啓発に努めます。

施策コード	304	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
食育推進計画の推進		江戸川区食育推進 計画の推進	江戸川区食育推進 計画の改定検討	江戸川区食育推進 計画の推進
事業費		1,221千円	1,221千円	1,221千円
生活習慣病予防事業の充実		セミナー、講演会、 イベント等の開催	同左	同左
		食生活改善の支援	同左	同左
事業費		2,791千円	2,791千円	2,791千円
生活習慣病予防に関する 保健指導(特定保健指導) の充実		1,890人	江戸川区国民健康保 険健康診査(特定健康 診査等)実施計画の 策定・実施	計画の実施
事業費		48,426千円	※※※千円	※※※千円
8020運動※の推進		周知・啓発	同左	同左
事業費		65千円	65千円	65千円

※ 8020運動:「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。

305 地域からの健康づくり

生活習慣病及び老化の予防を図るため、ウォーキング、老化予防等の健康課題に関する地域出前講座を実施する等、地域の自主的な健康づくり運動を支援します。

食習慣改善、口腔ケア等の健康づくりについての総合的な学習の機会を提供するとともに、受講者の自主的な活動の立ち上げを支援することにより、地域の健康づくり活動を担うリーダーの育成に努めます。

また、健康講座、ウォーキング等の啓発・活動等を推進し、家庭・地域からの健康づくりを担うファミリーヘルス推進員の活動を支援するとともに、地域で健康づくり活動を実践するボランティアの育成等に努めます。

施策コード	305	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
地域密着型の健康づくり運動の展開		ウォーキング大会・各種健康講座の開催	同左	同左
事業費		2,736千円	2,730千円	2,730千円
ファミリーヘルス推進員の支援		活動支援 8団体 350名	同左	同左
事業費		12,340千円	10,220千円	12,340千円
健康ボランティアの育成及び支援		ボランティアの育成及び支援	同左	同左
事業費		379千円	380千円	380千円

306 手軽な健康増進のためのしくみづくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

(2)がん予防対策の推進

307 がん予防対策の推進

区民のがんに関する意識調査の実施や9月の「がん予防推進月間」の取組み等により、がん検診の受診率の向上に努め、がんの早期発見、早期治療に繋がります。

また、一般健康相談事業での禁煙指導の実施、区内禁煙外来医療機関の紹介、普及啓発等を進め、がん予防のために喫煙率の低下に努めていきます。

施策コード	307	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
がん検診の充実 再掲 303		126,300人	132,615人	139,246人
事業費		889,132千円	944,089千円	991,293千円
受診率向上事業の実施 【新】		受診率に関する調査の実施	調査結果の検討・効果的な勧奨の実施	効果的な勧奨の実施
事業費		6,947千円	6,947千円	6,947千円

がん予防推進月間等 普及啓発の実施	推進大会・講演会等 の実施	同左	同左
事業費	1,932千円	1,932千円	1,932千円
喫煙率低下の取組み 【新】	普及啓発の実施	同左	同左
事業費	95千円	95千円	95千円
がんシステムの構築 【新】	システムの構築	システムの運用	同左
事業費	32,802千円	※※※千円	※※※千円
がん予防推進協議会の設置 【新】	普及啓発部会 精度管理・治療支援部会 での検討	同左	同左
事業費	313千円	313千円	313千円

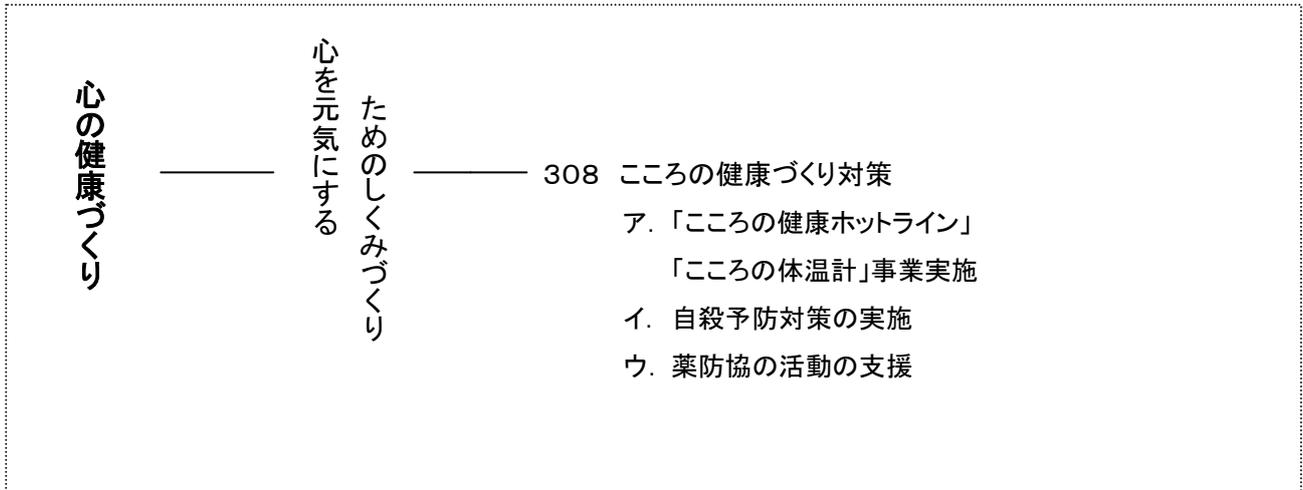
2 心の健康づくり

【施策の考え方】

ストレスの多い社会に生きる現代人にとって、「心の健康」は生活の質を左右する重要な要因の一つです。家族関係、地域社会への帰属意識等が大きく多様化する中で、高度情報化社会の進展等により、区民一人ひとりを取りまく環境はこれまでも増して変化が激しくなっています。このような変化を受け止め、心のバランスを保っていくことが大切です。

そのため、心の健康を保つための啓発、正しい情報の提供、相談支援等の心を元気にするためのしくみづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)心を元気にするためのしくみづくり

308 こころの健康づくり対策

心の健康の維持するための施策として、電話相談事業や早期発見のしくみづくりや正しい知識の普及啓発事業を継続して実施します。

江戸川区自殺防止連絡協議会を設置し、本区における自殺防止対策を総合的、かつ、効率的に推進していきます。特に人材育成を強化し、ゲートキーパー研修を拡充していきます。

また、東京都薬物乱用防止推進江戸川区地区協議会(薬防協)の事務局として、教育委員会や学校、警察と連携し薬物乱用防止の普及啓発活動を推進します。

施策コード	308	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
「こころの健康ホットライン」 「こころの体温計」事業実施	電話による相談 メンタルヘルスチェック システム	同左	同左	同左
事業費		5,084千円	5,118千円	5,118千円

自殺予防対策の実施	自殺防止連絡協議会 の開催 普及啓発活動(講演 会・キャンペーン実施) 人材育成(ゲートキー パー研修実施) 自死遺族支援事業	同左	同左
事業費	1,634千円	1,634千円	1,634千円
薬防協の活動の支援	薬物乱用防止の普及 啓発活動の実施	同左	同左
事業費	1,476千円	1,476千円	1,476千円

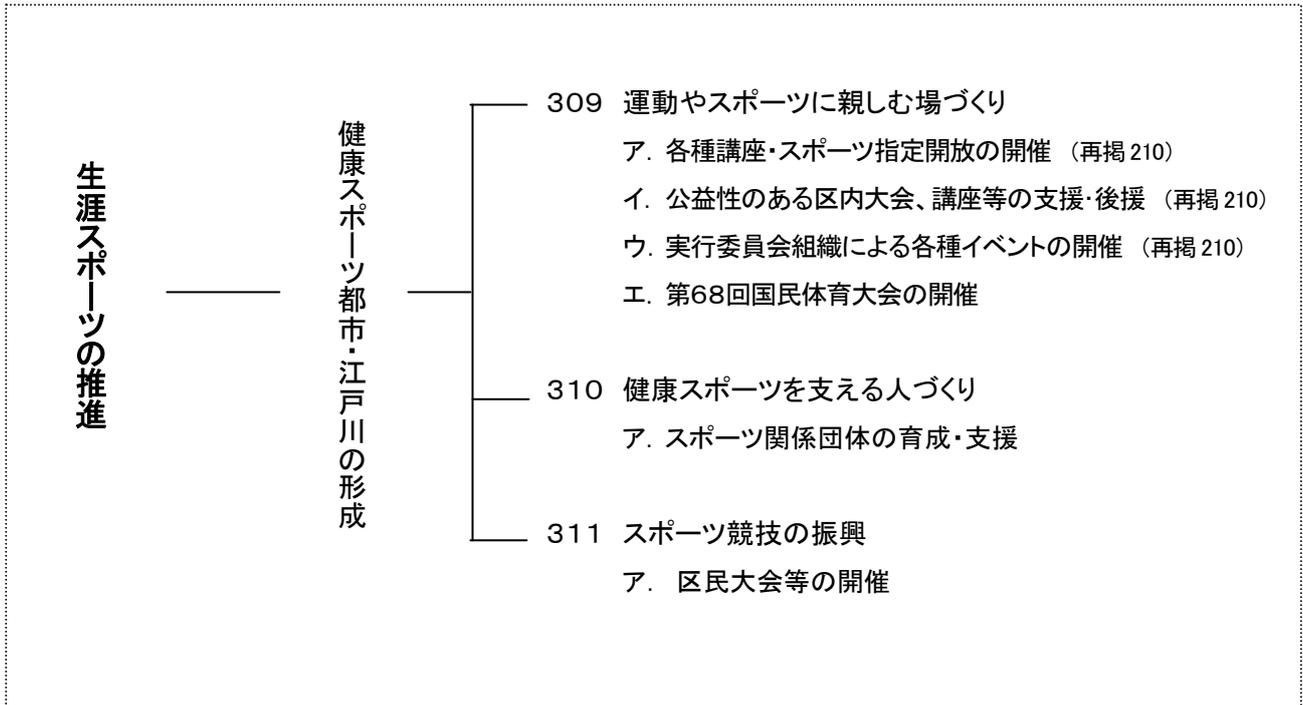
3 生涯スポーツの推進

【施策の考え方】

生活習慣病を予防し、心の健康を保ち、生涯にわたっていきいきと楽しく暮らすためには、そのもととなる身体の健康づくりを進めることが不可欠であり、区民一人ひとりが体力、興味等に応じて生涯スポーツを続けることが大切です。

江戸川区には、球場、陸上競技場等のスポーツ競技の本格的な施設をはじめ、河川敷の野球場、サッカーグラウンド、健康の道、サイクリングロード等、健康づくり、スポーツの場等が多様に整えられています。今後さらに、誰でもどこでも身近にスポーツを続けられる環境づくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康スポーツ都市・江戸川の形成

309 運動やスポーツに親しむ場づくり

各種スポーツ講座を開催し、区民の健康・体力づくりや生涯スポーツとして誰もが楽しめるスポーツの普及を図っていきます。

各種団体と連携し実行委員会を組織し、マラソン大会等区民が安心して楽しめるイベントを開催したり、各種スポーツ団体による大会・講習会や世界大会、全国規模の大会・競技会を支援・後援することにより、区民の新しいスポーツ分野への関心を高める等一層のスポーツの振興を図っていきます。

また、第68回国民体育大会の開催に向けて、関係機関・関係団体と緊密な連携を図り、区民と一体となって大会に参画し、本大会を成功に導きます。

施策コード	309	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
各種講座・スポーツ指定開放の開催 再掲 210		開催	同左	同左
事業費		17,099千円	17,099千円	17,099千円

公益性のある大会、講座等の支援・後援 再掲 210	支援	同左	同左
事業費	18,708千円	17,011千円	17,011千円
実行委員会組織による各種イベントの開催 再掲 210	実行委員会による各種イベントの開催	同左	同左
事業費	8,657千円	8,121千円	8,121千円
第68回国民体育大会の開催	リハーサル大会の開催	本大会の開催	
事業費	152,285千円	※※※千円	

310 健康スポーツを支える人づくり

地域スポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員や地域スポーツ推進員等健康スポーツを支える人づくりに努めていきます。

施策コード	310	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
スポーツ関係団体の育成・支援	育成・支援	同左	同左	
事業費	15,652千円	12,021千円	15,652千円	

311 スポーツ競技の振興

区民大会等を通して相互交流と日頃の練習成果を発揮する場として実施し、スポーツ競技の振興を図っていきます。

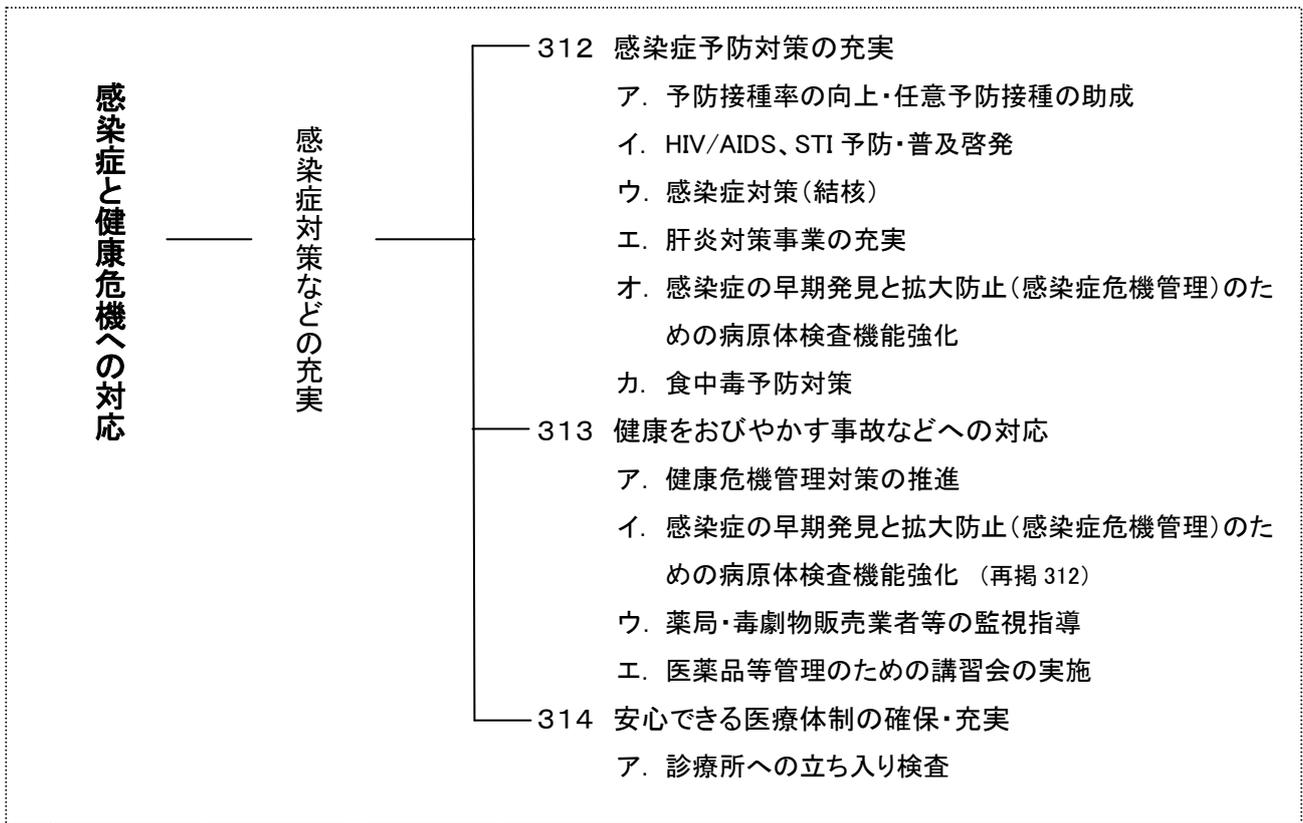
施策コード	311	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
区民大会等の開催	体育会と共催により実施	同左	同左	
事業費	22,155千円	22,155千円	22,155千円	

4 感染症と健康危機への対応

【施策の考え方】

乳幼児のすこやかな成育を図るためには、麻疹、風疹等の予防接種率をさらに高めることが課題です。また、高齢の人々を中心とした、結核等の感染症に対する危険性の増加も危惧されます。さらに、エイズ、C型肝炎、病原性大腸菌等の対策も重要です。このような状況を踏まえ、健康危機の原因となる感染症等の情報を収集し、正しい知識及び情報の提供、予防方法の啓発等を行います。また、食品、飲料水等の事故の防止を図り、大規模食中毒等の健康危機等に、迅速に対応できる体制づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 感染症対策などの充実

312 感染症予防対策等の充実

がんや疾病を防ぐために効果的な予防接種の接種率の向上に向けた勧奨や、子宮頸がん予防等任意の予防接種についての費用の助成を行っていきます。

HIV/AIDS*及び STI*、結核等の感染症の予防対策の充実を図るため、HIV 抗体迅速検査、結核健診等を実施するとともに、必要な情報の提供、相談支援等の体制の整備に努めます。特に、B 型及び C 型ウイルス肝炎については、その早期発見・治療を図るため、検診・受療の勧奨、保健指導等を実施します。

区内における感染症の早期発見と拡大防止を図るため、江戸川区医師会と連携して感染症発生時の病原体検査を行います。また、食肉の生食による腸管出血性大腸菌等の食中毒及びノロウイルスによる食中毒について、予防対策に努めます。

※ HIV (Human Immunodeficiency Virus) / AIDS: 後天性免疫不全症候群。HIV はその原因となる病原体。

※ STI (性感染症): 性行為により感染した疾患の総称。

施策コード	312	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
予防接種率の向上・ 任意予防接種の助成	定期予防接種の勧奨と 任意予防接種の助成	同左	同左	
事業費	1,109,247千円	1,110,000千円	1,110,000千円	
HIV/AIDS.STI 予防 ・普及啓発	HIV/AIDS.STI 予防	同左	同左	
事業費	5,073千円	5,073千円	5,073千円	
感染症対策(結核)	感染症対策(結核)	同左	同左	
事業費	122,344千円	122,344千円	122,344千円	
肝炎対策事業の充実	肝炎健診の実施	同左	同左	
事業費	12,668千円	12,668千円	12,668千円	
感染症の早期発見と拡大防 止(感染症危機管理)のため の病原体検査機能の強化	江戸川区サーベイラン ス事業定点等における 病原体検査の実施	同左	同左	
事業費	500千円	500千円	500千円	
食中毒予防対策	重点監視指導の実施 (対象 335施設)	同左	同左	
事業費	6,600千円	6,600千円	6,600千円	

313 健康をおびやかす事故などへの対応

新型インフルエンザや新たな感染症、大規模食中毒等に対して迅速に対応できるよう、医療機関等の関係機関との連携を推進します。

区内における感染症の早期発見と拡大防止を図るため、江戸川区医師会と連携して感染症発生時の病原体検査を行っていきます。

また、薬局等で取り扱う医薬品、毒物・劇物の適切な管理について、取扱業者等を監視指導し、講習会を実施することにより意識の向上を図ります。

施策コード	313	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
健康危機管理対策の推進	新型インフルエンザ [※] 行動計画の改定 関係機関との連携強化	関係機関との連携強化	同左	
事業費	1,230千円	1,230千円	1,230千円	
感染症の早期発見と拡大防 止(感染症危機管理)のため の病原体検査機能の強化 再掲 312	江戸川区サーベイラン ス事業定点等における 病原体検査の実施	同左	同左	
事業費	500千円	500千円	500千円	

薬局・毒劇物販売業者等の 監視指導	薬局・毒劇物販売業者 等の監視指導の実施 (420件)	同左	同左
事業費	2,307千円	2,307千円	2,307千円
医薬品等管理のための 講習会の実施	医薬品販売業者等に 対する講習会の実施 (1回)	同左	同左
事業費	36千円	36千円	36千円

314 安心できる医療体制の確保・充実

医療安全管理体制の整備、院内感染対策の実施について、これまで実施してきた有床診療所に加え、歯科を含む無床診療所の立入り検査を実施し、安心できる医療体制の確保に努めます。

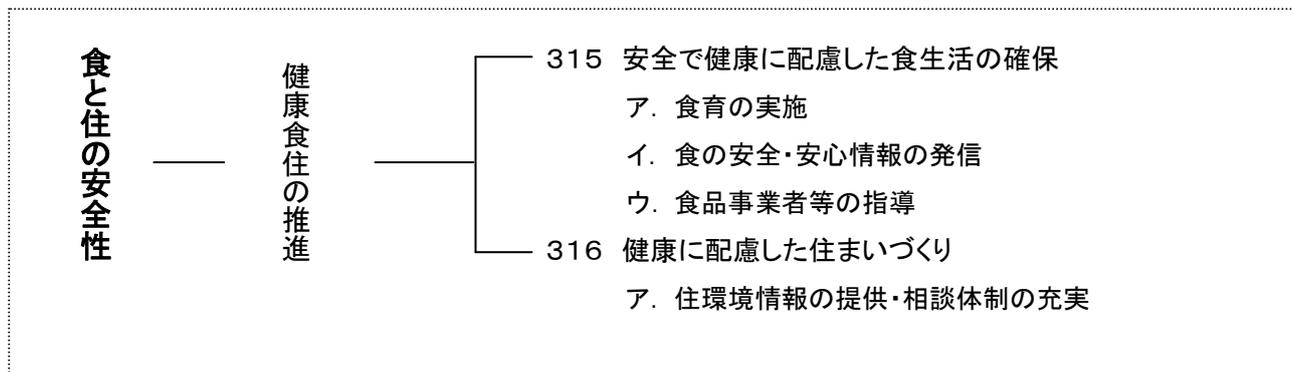
施策コード	314	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
診療所への立入り調査	30施設	同左	同左	
事業費	315千円	315千円	315千円	

5 食と住の安全性

【施策の考え方】

食品の安全性に対する関心が高まる一方、輸入食品の増大、遺伝子組み替え食品の普及等が進んでいます。このような状況を踏まえ、食をめぐる環境の変化を的確に捉えることにより、区民一人ひとりの食の安全の確保に取り組めます。また、住まいについても、区民の健康の維持・増進のうえで重要な役割を果たしています。しかし、建材に使用される化学物質、衛生害虫等による健康被害も生じており、わかりやすい情報の提供及び相談体制の充実を通じた、健康に配慮した住まいづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康食住の推進

315 安全で健康に配慮した食生活の確保

家庭での食に関する生活力の低下が危惧されることから、家庭での食育への理解がすすむよう保育園・幼稚園での取り組みや普及啓発を行います。また、正確で、見やすくわかりやすい食品衛生情報を発信するように努めます。併せて、食品事業者には、食品衛生法と食品安全基本法に規定された責務及び役割について指導するとともに、食品衛生協会への加入を呼びかけ、情報収集の重要性と自主管理意識、管理体制の向上を啓発します。

施策コード	315	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
食育の実施		普及・啓発	同左	同左
事業費		※※※千円	※※※千円	※※※千円
食の安全・安心情報の発信		ホームページ等の 情報提供の充実	同左	同左
事業費		2,200千円	2,200千円	2,200千円
食品事業者等の指導		実務講習会受講の 指導(年間12回)	同左	同左
事業費		12,400千円	12,400千円	12,400千円

316 健康に配慮した住まいづくり

健康で快適な住環境の確保を図るため、アレルギー性疾患の原因の一つであるダニアレルゲンに関する検査を実施する等、安全な住まいに関する啓発活動、相談支援等を行います。

施策コード	316	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
住環境情報の提供・ 相談体制の充実	ダニアレルゲン検査 (200件)	同左	同左	
	IPMによる害虫駆除方 法の普及啓発	同左	同左	
事業費	529千円	529千円	529千円	